

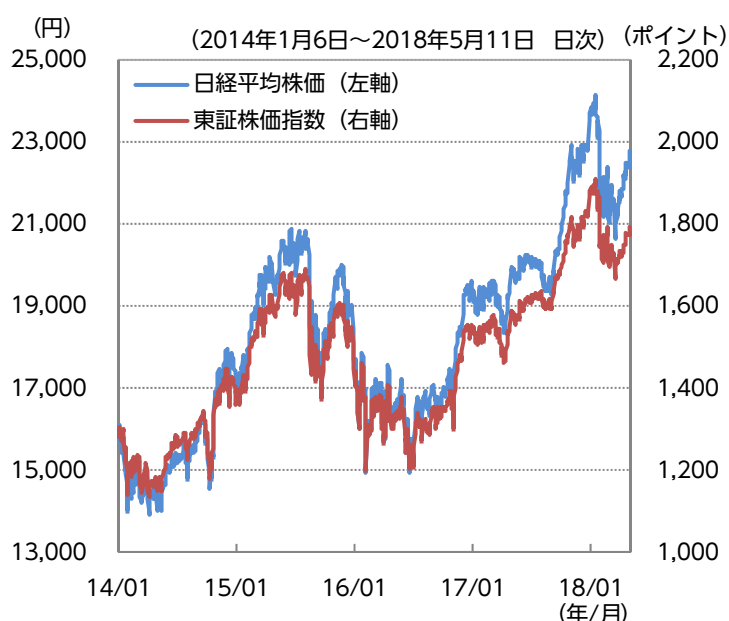
週間市場レポート

(2018年5月7日～5月11日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

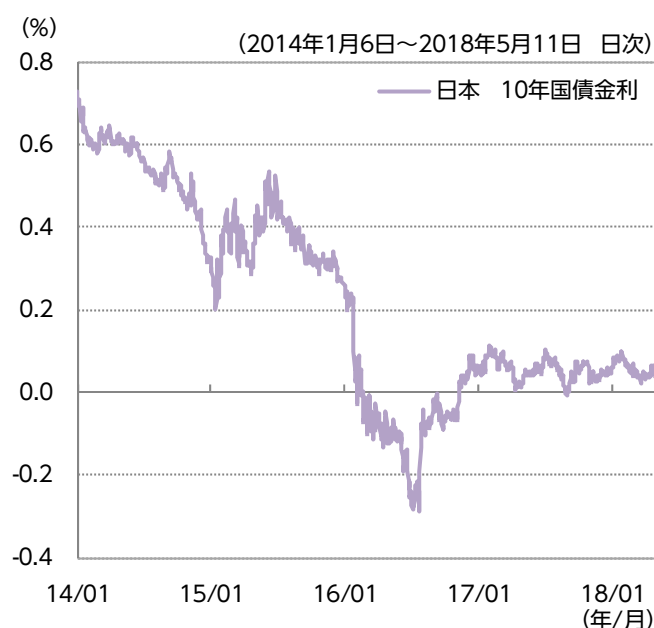
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米中貿易摩擦の長期化懸念や、中東情勢を警戒する動きがある一方、最近の堅調な欧米株式市場を背景に、一進一退の展開となりました。週末は、前日の米株高を手掛かりとした投資家のリスク選好姿勢の高まりにより上昇し、2月2日以来、約3カ月ぶりの高値となりました。（週末引け値：22,758.48円）
- 週間では、日経平均株価は1.27%の上昇、東証株価指数は1.32%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。米債券市場や、日経平均株価の動向を受け、週を通じて小幅に一進一退の展開となりました。（週末引け値：0.047%）
- 週間では、0.002%の上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。トランプ大統領のイラン核合意離脱発表を受けて地政学リスクが意識されたものの、4月の消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回る結果となり、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを急がないとの見方が広がったことや、堅調な企業決算を受けて週を通じて上昇しました。（週末引け値：24,831.17ドル）

- 週間ではNYダウは2.34%の上昇となりました。



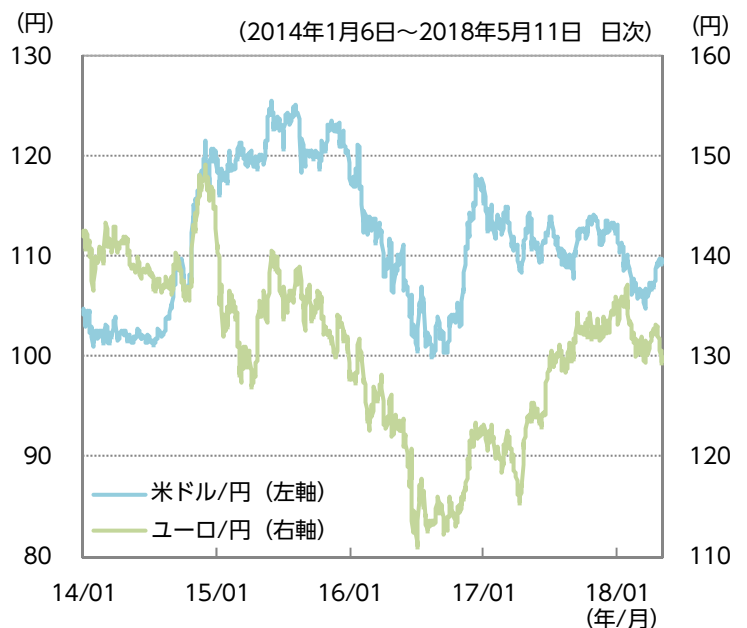
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週前半は、米長期金利上昇等を受け円売り米ドル買いが優勢となりました。後半にかけては、中東情勢の悪化懸念、米CPIが市場予想を下回り、FRBが利上げを急がないとの見方から米長期金利が低下し、日米の金利差縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。（週末引け値：109円35銭～45銭）

- 週間では米ドル/円は0.25%の円安、ユーロ/円は0.10%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>